

テーマ「地域と暮らし」の取り組み

カテゴリー：①教育課程（単位・科目など）

1. 学校概要：学校法人日章学園奄美看護福祉専門学校 所在地：鹿児島県奄美市名瀬小湊  
338-2 課程名：3年課程 1学年定数40名 修業年限3年

内容

27年前に開設され、開設当時から、地域とのつながりが深く、隣接している、268世帯、324人住民の地域の方々との共助、参画があり、地域の行事や、様々なイベントを学生が中心に担い、ボランティア活動も盛んに実施されているところであった。コロナ禍においても令和3年はボランティア参加延べ人数145名であった。地域とのつながりは通常から深かった。今年度のカリキュラム改正にあたり、地域の歴史や営みを科目たて、1年次から地域に目を向け、生活の視点から看護の対象をとらえることを目指して実施しているところである。

7月1日からフィールドワークを地域の歴史に詳しい住民を講師として迎え、地域散策を行い、学生たちでリフレクション、ディスカッション。地域の住民の理解を深める、奄美看護福祉専門学校が、開設される当時、周囲の重要文化財が発掘され、フワガネク遺跡が発見、奄美と沖縄でしか見られない夜光貝から作られた食器が発見され、6～8世紀のものでその謎があきらかになった。近代では、薩摩藩、琉球、米国と支配下にあったが、その中でも江戸時代のペリー来航時、小湊の港でペリーが貿易を行っており、バター等を輸入していたとのこと、歴史を振り返ると、今の奄美の人々のアイデンティティの背景を垣間見ることができ、高齢者等との関りも深く学ぶことができ、つながりを感じる。薩摩藩の支配下時には、唯一歌、今の奄美の民謡が、楽しいとき、苦しいとき言語化されて、方言も残されている、古語や、沖縄の言葉も、文化も継承されているところもあり、様々な影響を受け、その積み重ねにより、人との対応がやさしく受け入れが柔軟であることが理解できる。

様々な文化、歴史を自分たちで、主体的に学ぶことにより、病院だけではなく、患者さんの生活の場、シームレスに看護としてかかわっていく、背景を大切にする土台ができたらと期待する。

